



紹介者 食品統括本部長 高橋 聡 さん

市内のさまざまな企業とタイアップし、それぞれの得意分野を生かした商品開発にもチャレンジしたいですね。

◆**今後の目指していくことは**
お客様の声が直接届くので、新製品などのよい評価を聞いたり、厳しい意見への対策ができたときに達成感があります。

◆**やりがいを感じることは**
お客様の声が直接届くので、新製品などのよい評価を聞いたり、厳しい意見への対策ができたときに達成感があります。

◆**仕事で心掛けていることは**
人の体に入る製品を作っているの、衛生面に注意し、安心で安全な商品を提供するよう心掛けています。

◆**どんな仕事をしていますか**
食品製造工程の製造管理などの統括をしています。約30種類の健康食品をはじめ、1日に約2トンの製品が作られているんですよ。

◆**どんな会社ですか**
大豆成分を主原料とした健康食品や化粧品、漢方薬を製造しています。幅広い商品を取り扱っている、部署に關係なく、従業員一人一人が協力して仕事に取り組んでいる会社です。

まちの企業 探検隊⑬ (株)グローバル 伸和製薬

企業人による会社紹介

所在地 松尾寄木2-546-1
資本金 5,000万円
代表者 田中 文昭
設立 昭和63年1月
従業員数 31人
電話番号 78-3355
事業内容 健康食品、化粧品、漢方薬の製造、販売
主な取引先 (株)グローバル、健康食品販売会社



相撲練習の基本の一つ「すり足」

相撲練習場
詳しくは、寺田相撲スポーツ少年団指導者・遠藤良貴(三研ソール㈱、☎77-2021)まで。

■練習日時・場所
毎週月・水・金曜日、午後6時から8時まで、西根地区相撲練習場



未来の横綱目指し練習に励む団員たち

No.8 寺田相撲 スポーツ少年団

寺田相撲スポーツ少年団は、昭和58年に設立されたスポーツ少年団です。これまで、県大会はもちろん全国大会や東北大会で個人や団体優勝など多数入賞を果たす活躍を見せています。

現在、小学校4年生から中学校2年生までの8人が所属。相撲の基本である四股やぶつかり稽古などメリハリを付けた練習をしています。活動を通して、一生懸命取り組めば、その努力は絶対報われることを伝え、何でもあきらめないで頑張る子どもたちを育てていきたいと思っています。団員は随時募集しています。学年や男女は問いません。

われらスポーツ少年団

No.64 広報クイズ 1月6日号の問題

劇団ふるさと発信
株式会社の第13回
公演タイトルは？

正解者の中から抽選で3人に500円分の図書カードをお贈りします。
◎応募方法 はがき、FAX、メールに「答え、住所、氏名、年齢」を書いて応募してください。答えのほか、広報の感想や意見などを必ず書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。
◎応募先 八幡平市役所「広報クイズ係」 ☆はがき〒028-7192(住所不要) ☆FAX 75-0469 ☆メール somuka@city.hachimantai.lg.jp (タイトルに「広報クイズ」と入力、携帯電話は右の二次元コードから送信できます)
◎応募期限 1月25日(※) 消印有効
◎第63回の正解 「12点」 ◎応募者数 10人 ◎正解者数 10人
◎当選者 日向裕一さん(大更)、畠山サン子さん(松尾寄木)、大森リツさん(吹田)



市は、出産を控える夫婦を対象に、妊娠・出産についての知識を夫婦一緒に学ぶとともに、妊婦同士の交流を図る「パパママ教室」を開催しています。昨年11月17日に行われた教室では、「妊婦さんに優しい食事」の調理実習や人形を使って赤ちゃんのお風呂の入れ方のシミュレーションをする沐浴体験(写真)、約10分の重りを身に付けるパパの妊婦体験をしたほか、よだれかけ作りをしました。

◆**積極的に受診しましょう**
現在、日本のがんによる死亡者数は年間30万人を超え、日本人の死因の第1位を占めています。日本人の2人に1人が、がんになると言われていますが、現在は医学が進歩し、早期発見、治療すれば、治る確率が高くなります。がんの早期発見、治療のために重要なのが、「がん検診」を受診することですが、全国では受診率が50%に達していません。市で行うがん検診でも毎年がんが発見されています。来年度から定期的ながん検診を受診しましょう。

保健のひろば

☎・内線1151 市役所保健課

介護のココロ

☎・内線1185 市地域包括支援センター

◆防ごう高齢者虐待

高齢者が、家族などから暴力を受けるなどの「高齢者虐待」が問題となっています。21年度の県内各市町村への相談・通報総数は308件。このうち虐待と認定されたのは170件(180人)ありました。認知症である80歳以上の女性が、息子から身体的虐待を受けるケースが多い傾向にあります。

誰もがいつかは高齢者になり、直面する可能性がある高齢者虐待。早期発見・対応を行い、みんなで高齢者や介護者を見守り、支えていきましょう。

高齢者虐待を発見した人は、高齢者虐待防止法に基づき、通報することが定められています。発見した場合は、市地域包括支援センターへ相談・通報ください。通報者の秘密は守られます。なお、相談は、県高齢者総合支援センター(☎0120-84-8584)でも受け付けています。



環境のみらい

☎・内線1137 市役所市民課



扇風機で暖かい空気を循環させましょう

◆身近なことから環境に優しい生活を

寒くなりましたが、暖房機器を効率的に使って、体にもお財布にも暖かいエコな生活を送りましょう。

- ①エアコンや石油ストーブの使用は 設定温度は控えめにしましょう。また空気を循環させ、暖かい空気が部屋中に回るようにしましょう。
- ②電気カーペット・コタツの利用は カーペットは断熱マットを敷き、コタツは上掛けや敷布団を調節することで、設定温度を下げても十分な暖かさになります。人がいないときはスイッチを切りましょう。
- ③重ね着の利用を 靴下を履くだけで、体感温度は上がります。上着など積極的に重ね着をしましょう。
- ④カーテンの利用を 日中はカーテンを開けて太陽光で室内を暖め、夜間はカーテンを閉め、窓からの冷たい空気を遮断しましょう。
- ⑤入浴するときは シャワーの出っぱなしをやめ、お風呂上りのドライヤーもタオルでよく髪をふいてから使いましょう。